

第5節 市民・事業者・行政のパートナーシップづくり

市民	事業者	行政
①環境保全や資源循環に関する学習活動への積極的な参加 ②事業者、行政との積極的対話	①市民、行政との積極的対話	①市民、事業者との積極的対話 ②市民、事業者との対話の場づくり

第6節 計画の進行管理

本計画は、資源循環に係わる様々な施策を多岐にわたって展開するための基礎となる計画である。目標を達成するため、計画の各段階において進捗状況を点検・評価し、次の施策展開に反映させていく必要がある。また、環境を取りまく社会情勢は日々変化していることから、新たな知見を随時取り入れていくことも重要と考えられる。そのため、計画の進捗状況を施策ごとにPDCAサイクルにより点検するものとする。

点検は、数値目標の進捗状況の分析・評価を行い、問題点について整理する。これにより課題を明確に把握し、取組に反映させるとともに、必要に応じて見直しを行うものとする。また、市民や事業者の取組や活動を把握するとともに、寄せられた情報や意見についても検討していくものとする。

表6-1 計画の進行管理

項目	内容
行動計画の策定 (Plan)	本計画の目標や施策などは、毎年策定する一般廃棄物処理実施計画に行動計画として盛り込んで実施していく。
施策の実行 (Do)	行動計画に基づき実行する。
評価 (Check)	計画の進捗状況を客観的に評価する。その評価結果は、一般廃棄物処理実施計画及び宝塚市廃棄物減量等推進審議会などに報告する。
見直し (Action)	毎年度での課題事項は、その都度改善していく。また、行動計画の前提条件に大きな変動があった場合は、見直ししていく。